



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社トランザクション・メディア・ネットワークス 上場取引所 東  
コード番号 5258 URL <https://www.tm-nets.com/>  
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）大高 敦  
問合せ先責任者 （役職名）取締役副社長 （氏名）小松原 道高 TEL 03 (3517) 3800  
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	6,345	10.6	△169	—	△182	—	△193	—
2025年3月期中間期	5,738	—	△183	—	△190	—	△202	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △193百万円（—％） 2025年3月期中間期 △233百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△5.82	—
2025年3月期中間期	△5.47	—

（注）1. 2025年3月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期中間期の対前年中間増減率については記載しておりません。また、当中間連結会計期間より連結子会社となった株式会社フォー・ジェイは貸借対照表のみを連結しており、同社の業績は含まれません。  
2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	16,669	6,452	38.3
2025年3月期	26,989	10,126	37.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 6,379百万円 2025年3月期 10,060百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,079	22.6	512	—	464	—	349	—	9.45

（参考資料）EBITDA 2026年3月期通期（予想） 2,863百万円（91.2％）

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 -社 (社名) -, 除外 -社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	36,991,500株	2025年3月期	36,991,500株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	7,321,600株	2025年3月期	一株
-------------	------------	----------	----

③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	33,325,483株	2025年3月期中間期	36,961,250株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及びウェブスペース株式会社)が判断したものであります。なお、当中間連結会計期間より連結子会社となった株式会社フォー・ジェイは貸借対照表のみを連結しており、同社の業績は含まれません。

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の継続的な改善や、インバウンド需要の拡大が見られたものの、アメリカの通商政策の動向や、原材料や食料品をはじめとする物価上昇など経済の回復基調を下押しするリスクがあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

キャッシュレス業界においては、政府はキャッシュレス決済の推進を国策として、2025年には同決済比率を40%、将来的に世界最高水準となる80%を目指しております(注1)。この目標に対し経済産業省の発表(2025年3月31日)において、2024年のキャッシュレス決済比率が42.8%(注2)に達し、目標を前倒して達成する等、堅調に上昇しております。これを追い風に、同業界においては、生活様式の変化を踏まえつつ、無人店舗やモバイルを起点とした新たなサービスやソリューションが増加しています。

このような経済状況のもと、当社グループでは、昨年度からの重要施策であったデータセンターの移設作業が9月に完了し完全移行いたしました。また当社データセンターに接続する端末は堅調に増加しており、稼働端末台数は115万台となりました(2025年9月30日)。特に、ストック収入に当たるセンター利用料、QR・バーコード精算料は継続して拡大しており、当社グループの売上を牽引しております。また、JR西日本の新決済サービス「Wesmo!」及びローソンにて札幌電子マネー「SAPICA」を導入する等、決済ブランドの拡充を図ったことで、今後のさらなる決済量の拡大を見込んでおります。

また、フロー収入に当たる端末販売売上及び開発売上については、例年第4四半期に売上が偏重するものの、当中間連結会計期間において当初予定していた端末販売台数を上回り、売上が増加しました。

これらの結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高6,345,299千円(前年同中間比10.6%増)となりました。売上総利益は1,796,681千円(前年同中間比7.0%増)、営業損失は169,264千円(前年同中間期は183,825千円の営業損失)、経常損失は182,196千円(前年同中間期は190,155千円の経常損失)となりました。また法人税等合計10,445千円の計上により親会社株主に帰属する中間純損失は193,825千円(前年同中間期は202,307千円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

なお、当社の事業セグメントはキャッシュレス決済サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注1) 「キャッシュレス・ビジョン」経済産業省(2018年4月)

(注2) 「2024年のキャッシュレス決済比率を算出しました」経済産業省(2025年3月)

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は6,135,649千円となり、前連結会計年度末に比べ11,110,740千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が11,061,592千円減少したことによるものであります。固定資産は10,533,480千円となり790,127千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が76,640千円、のれんが238,617千円、投資その他の資産が503,679千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産合計は16,669,130千円となり、前連結会計年度末に比べ10,320,613千円減少いたしました。

##### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は5,563,712千円となり、前連結会計年度末に比べ9,464,712千円減少いたしました。これは主に預り金が9,887,577千円、その他が449,473千円減少したものの1年内返済予定の長期借入金が827,230千円増加したことによるものであります。固定負債は4,653,385千円となり、前連結会計年度末に比べ2,818,106千円増加いたしました。これは主に長期借入金が3,000,856千円増加、リース債務が146,932千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は10,217,097千円となり、前連結会計年度末に比べ6,646,606千円減少いたしました。

##### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は6,452,033千円となり、前連結会計年度末と比較して3,674,007千円減少いたしました。

これは、主に自己株式の取得により3,485,081千円、親会社株主に帰属する中間純損失の計上により利益剰余金が193,825千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は38.3%（前連結会計年度末は37.3%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて11,061,592千円減少し、3,007,624千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は、9,095,507千円となりました。（前年同中間期は784,777千円の獲得）これは主に、減価償却費の計上額1,089,554千円、売上債権の減少額127,938千円、棚卸資産の減少額147,463千円による増加と税金等調整前中間純損失の計上額183,380千円、預り金の減少額9,890,985千円の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、2,078,791千円となりました。（前年同中間期は1,381,487千円の支出）これは主に、有形固定資産の取得による支出311,215千円、無形固定資産の取得による支出941,107千円、子会社株式の取得による支出224,491千円及び長期貸付けによる支出500,000千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、112,705千円となりました。（前年同中間期は43,864千円の支出）これは主に、長期借入金の返済による支出241,630千円、リース債務の返済による支出145,683千円及び自己株式の取得による支出3,499,980千円と長期借入れによる収入4,000,000千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想については、2025年5月14日付の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,069,217	3,007,624
売掛金及び契約資産	1,566,894	1,519,222
商品	439,644	292,281
貯蔵品	10,176	10,076
その他	1,163,706	1,309,914
貸倒引当金	△3,249	△3,469
流動資産合計	17,246,390	6,135,649
固定資産		
有形固定資産	2,113,643	2,190,283
無形固定資産		
のれん	368,807	607,424
リース資産	503,810	494,408
ソフトウェア	4,615,410	5,098,300
ソフトウェア仮勘定	1,297,139	805,168
その他	145,160	134,833
無形固定資産合計	6,930,328	7,140,136
投資その他の資産	699,381	1,203,061
固定資産合計	9,743,353	10,533,480
資産合計	26,989,744	16,669,130

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	83,874	64,473
1年内返済予定の長期借入金	77,732	904,962
未払法人税等	7,929	45,385
契約負債	1,767,747	1,845,341
預り金	10,994,277	1,106,700
リース債務	291,644	292,893
賞与引当金	190,236	143,434
役員賞与引当金	9,975	4,987
製品保証引当金	492	492
その他	1,604,516	1,155,042
流動負債合計	15,028,425	5,563,712
固定負債		
長期借入金	187,379	3,188,235
リース債務	1,081,427	934,495
繰延税金負債	22,662	18,462
役員退職慰労引当金	38,970	26,420
退職給付に係る負債	161,815	170,498
その他	343,023	315,274
固定負債合計	1,835,278	4,653,385
負債合計	16,863,703	10,217,097
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,165,100	6,165,100
資本剰余金	3,319,827	3,318,199
利益剰余金	575,434	381,608
自己株式	-	△3,485,081
株主資本合計	10,060,362	6,379,827
新株予約権	65,677	72,205
純資産合計	10,126,040	6,452,033
負債純資産合計	26,989,744	16,669,130

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自2025年4月1日 至2025年9月30日)
売上高	5,738,615	6,345,299
売上原価	4,059,594	4,548,617
売上総利益	1,679,021	1,796,681
販売費及び一般管理費	1,862,846	1,965,945
営業損失(△)	△183,825	△169,264
営業外収益		
受取利息	489	8,951
受取配当金	103	-
助成金収入	1,741	1,061
保険解約返戻金	3,897	1,518
受取保険金	-	3,175
その他	1,234	895
営業外収益合計	7,466	15,602
営業外費用		
支払利息	13,796	28,526
その他	-	8
営業外費用合計	13,796	28,534
経常損失(△)	△190,155	△182,196
特別損失		
固定資産除却損	1,505	1,184
特別損失合計	1,505	1,184
税金等調整前中間純損失(△)	△191,660	△183,380
法人税、住民税及び事業税	15,983	14,644
法人税等調整額	△5,336	△4,199
法人税等合計	10,646	10,445
中間純損失(△)	△202,307	△193,825
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△202,307	△193,825



(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自2025年4月1日 至2025年9月30日)
中間純損失(△)	△202,307	△193,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,876	-
その他の包括利益合計	△30,876	-
中間包括利益	△233,183	△193,825
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△233,183	△193,825
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自2025年4月1日 至2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△191,660	△183,380
減価償却費	888,781	1,089,554
固定資産除却損	1,505	1,184
のれん償却額	30,733	30,733
顧客関連資産償却額	10,540	10,144
株式報酬費用	16,763	16,154
貸倒引当金の増減額(△は減少)	490	219
賞与引当金の増減額(△は減少)	△49,391	△46,802
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	4,987	△4,987
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,456	8,682
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	790	△12,550
製品保証引当金の増減額(△は減少)	3,412	—
受取利息及び受取配当金	△593	△8,951
支払利息	13,796	28,526
売上債権の増減額(△は増加)	△78,241	127,938
棚卸資産の増減額(△は増加)	△253,670	147,463
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,474	△17,518
預り金の増減額(△は減少)	514,271	△9,890,985
契約負債の増減額(△は減少)	△20,369	77,594
その他	27,732	△461,133
小計	910,859	△9,088,113
利息及び配当金の受取額	593	8,951
利息の支払額	△615	△33,470
法人税等の還付額	—	52,599
法人税等の支払額	△126,059	△35,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	784,777	△9,095,507
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△229,132	△311,215
無形固定資産の取得による支出	△1,127,024	△941,107
長期貸付けによる支出	—	△500,000
長期貸付金の回収による収入	—	31,816
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△224,491
関係会社株式の取得による支出	—	△68,520
その他	△25,329	△65,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,381,487	△2,078,791
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,000	—
長期借入れによる収入	—	4,000,000
長期借入金の返済による支出	△37,866	△241,630
リース債務の返済による支出	△6,142	△145,683
自己株式の取得による支出	—	△3,499,980
新株予約権の行使による株式の発行による収入	6,143	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,864	112,705
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△640,573	△11,061,592
現金及び現金同等物の期首残高	13,173,388	14,069,217
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,532,815	3,007,624

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社はキャッシュレス決済サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社はキャッシュレス決済サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(資本準備金の減少)

当社は、2025年6月26日開催の第18期定時株主総会決議により、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を3,165,100千円減少させ、同額をその他資本剰余金に振り替えております。

(自己株式の取得)

当社は、2025年6月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式7,352,900株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が3,499,980千円増加しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社グループは、2025年10月15日開催の取締役会において、財務体質の強化を図り、運転資金を確保すること、将来に向けた銀行との関係性強化を高めていくことを目的に、以下のとおり資金の借入について決議し実行いたしました。

借入の内容

(1)	借入先	株式会社三菱UFJ銀行	株式会社りそな銀行
(2)	借入金額	20億円	10億円
(3)	借入利率	固定金利	固定金利
(4)	借入実行日	2025年10月27日	2025年10月27日
(5)	借入期間	5年	5年
(6)	返済方法	元金均等返済	元金均等返済
(7)	担保の有無	無担保、無保証	無担保、無保証